

'19

後期日程

# 自然・情報系共通小論文

(教育学部)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊(1頁)、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号は解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。





## 問 題

次の二つの問について解答しなさい。解答は、問ごとに指定された解答用紙を用いて、その枠内におさめること。

**問 1** 昨今、道端の花の名前、薬に含まれる化学物質、数学の定理や公式、自動運転のしくみなど、インターネットで検索するだけで科学に関する多種多様な知識を得ることができる。このような現代において学校で学ぶことにはどのような意味があるか、あなたの考えを述べなさい。

**問 2** 以下の文章を読んで、科学・技術に対するスタンスについて、あなたの考えを述べなさい。

明治維新以来、西欧に追いつけ追い越せで科学をもり立ててきた日本にとって、科学を楽しむ余裕などなかったのかもしれない。江戸時代の教養人たちが和算を楽しんだり、からくり人形を愛でるといった科学・技術とのつきあい方が、明治維新以降、衰えていったのは残念だ。

見せ方、提供の仕方によって、再び科学を楽しむ文化が育ってほしいと思う。そのためには、科学・技術が持つそのものの面白さを何倍にも生かす工夫に、もっと努力が払われていい。「ネタはいいのに仕事がまずい」は、田舎の寿司屋によくある評価だが、今の日本はそれに似ている。職人は客の舌によって鍛えられるが、客の舌も「いいもの」をたくさん味わわなければ鍛えられないのである。

出典：元村有希子. 科学を文化としてとらえ直す. 化学と工業, Vol. 61 - 8 (2008)







